



高麗屋 襲名披露公演「松竹大歌舞伎」 十代目・松本幸四郎さん スペシャルインタビュー

2018年、歌舞伎界で37年ぶりとなる親子三代同時襲名を果たした高麗屋。来たる4月25日、二代目松本白鷗と十代目松本幸四郎の襲名披露公演が大分で行われます。歌舞伎の名作『菅原伝授手習鑑』と軽快な舞踊が見どころの『奴道成寺』という人気演目に加え、口上もみることが出来る貴重な公演。梅王丸、白拍子花子を演じる松本幸四郎さんにお話を伺いました。



— 新・幸四郎としての抱負と、襲名披露公演への思い入れ、演目の見どころを教えてくださいませんか？

東京・歌舞伎座で始まって以来全国各地を襲名披露公演としてまわらせていただき、本当にこんな幸せな時間はないと思っております。責任興行という大変さがありますが、こうした場をつくってくださる周囲の方々のおかげで、演じることに集中できています。襲名は大きな一歩ですが、幸四郎になるのが目的ではなく、幸四郎で何をやっていくか、ということが大事ですので、これからだなど、気持ち新たにしております。

今回の公演は言わずと知れた時代物の名作、『菅原伝授手習鑑』から、緩急ある展開が見どころの『加茂堤』と、勇壮な荒事をはじめ、歌舞伎らしさを十分に感じていただける『車引』を上演します。私は菅原道真に仕える梅王丸を演じますが、代々江戸の荒事を得意としてきた高麗屋にとっても、自分自身の襲名披露の役柄としても、とても大事な作品です。同時に、非常にハードルが高いものでもあるので、たくさん稽古に励みたいと思っております。『奴道成寺』は、おかげ、大尽、ひよこの三つのお面を次々と取り替えながら演じ分ける舞踊です。長唄と常盤津、二つのジャンルの音楽が入り混じる演奏と併せて、見ていても聞いていても楽しんでいたという演目だと思います。

— 初めて歌舞伎をみる方々へ、鑑賞のアドバイスはありますか？

歌舞伎は、お話の筋や所作などを知れば知るほどおもしろいのは事実ですが、それはまあ一旦置いていただき、まずは何かを感じて来ていただければいいと思います。例えば、『車引』で登場する隈取りといったメイクや、『奴道成寺』の賑やかな踊りや音楽、原色系の衣装、舞台上で俳優を補助する黒衣(くるり)の動きに注目するのもおもしろいかもしれません。舞台と映像の違いは、お客さまが自由な視点でみることができるところ。難しく考えず、何かを探すつもりで来ていただければ、必ず興味を持っていただけることが転がっていると思います。

— 大分公演を楽しみにしている方々へメッセージをお願いします。

襲名披露という特別な公演で多くの方々に見ていただきたいですね。地方巡業で袴を着て口上を行うことはなかなかないので、そちらも楽しみにしていただければ幸いです。1日(昼夜2公演)というわずかな時間ですが、大分のお客さまにあらゆる角度から歌舞伎を楽しんでいただけるように稽古や準備を進めて参ります。また、私自身も時間が許す限り、大分の食や街の雰囲気を楽しみたいと思います。

Data

松竹大歌舞伎 iichiko presents 大分公演

松本幸四郎改め二代目 松本白鷗 襲名披露
市川染五郎改め十代目 松本幸四郎 襲名披露

2019年**4/25(木)** ▶ iichiko グランシアタ

チケット 2/16(土)発売

【時間】(昼)開場13:30/開演14:00、(夜)開場18:00/開演18:30 【料金】GS席12,000円、S席10,000円、A席7,000円、B席4,000円、C席2,000円 ※U25割 各席種半額

【演目】一、「口上」二、菅原伝授手習鑑「加茂堤」「車引」三、「奴道成寺」【問】iichiko総合文化センター Tel:097-533-4004



もっと楽しむための
歌舞伎レクチャー

チケット 1/19(土)発売

「松竹大歌舞伎 大分公演」の事前レクチャー。講師に元NHKアナウンサーで、古典芸能解説者の葛西聖司さんを迎え、歌舞伎をもっと楽しむためのお話を伺います。

2019年**3/2(土)**
▶ iichiko総合文化センター 地下1階 iichiko Space Be 映像小ホール

【時間】(午前の部)11:00~12:30/(午後の部)14:00~15:30
※同一内容 【料金】一般500円、学生無料(但し、25歳以下に限る)
【問】iichiko総合文化センターTel:097-533-4004



BEETHOVEN
VERUS STRING QUARTET

今、日本で最も多忙なカルテット!

2020年のベートーヴェン生誕250年を記念して2016年度からスタートした弦楽四重奏曲全曲演奏会6回シリーズも、ちょうど3回目の折り返し地点となります。今回のプログラムの第9番「ラズモフスキー第3番」は、ベートーヴェンが傑作を多く生み出した中期の名作。第15番は死の淵から奇蹟的に回復し、第3楽章では「神への感謝の歌」と自筆で記した曲。ベートーヴェンの弦楽四重奏曲の中でも最も違う性質を持ち、様々なエピソードを持つ「人間」ベートーヴェンの二面性を感じることができます。若きカルテットが表現する、ベートーヴェンの世界にご期待ください。

Data

iichiko presents
ウェールズ弦楽四重奏団
ベートーヴェン 弦楽四重奏曲全曲演奏会【第3幕】

2019年**1/16(水)** ▶ iichiko音の泉ホール **チケット販売中**

【時間】開場18:30/開演19:00 【料金】一般 3,000円(友の会及び2,700円)、U25割 1,500円(25歳以下) 【出演】ウェールズ弦楽四重奏団 【問】iichiko総合文化センター Tel:097-533-4004

©Satoshi Oono